

平成 2 2 事業年度

決 算 報 告 書

自 : 平成 22 年 4 月 1 日

至 : 平成 23 年 3 月 31 日

国立大学法人島根大学

平成22年度 決算報告書

国立大学法人 島根大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,708	10,708	0	
施設整備費補助金	617	556	△ 61	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	1,124	1,377	253	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	56	53	△ 3	(注3)
自己収入	15,156	16,023	867	
授業料、入学金及び検定料収入	3,649	3,587	△ 62	(注4)
附属病院収入	11,336	12,143	807	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	171	293	122	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	962	1,441	479	(注7)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金	5,939	3,640	△ 2,299	(注8)
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	145	145	(注9)
計	34,562	33,943	△ 619	
支出				
業務費	24,991	24,620	△ 371	
教育研究経費	14,528	14,002	△ 526	(注10)
診療経費	10,463	10,618	155	(注11)
施設整備費	6,612	4,249	△ 2,363	(注12)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	1,124	918	△ 206	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	962	1,130	168	(注14)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	873	856	△ 17	(注15)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	34,562	31,773	△ 2,789	
収入－支出	0	2,170	2,170	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、事業計画を変更したこと等により、予算金額に比して決算金額が61百万円少額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、国立大学設備整備費補助金の交付及び補助金の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が253百万円多額となっております。
- (注3) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、年度計画の段階では見込額を計上していたが、交付額が見込額より下回ったことにより、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、入学志願者数は増加したが、在籍者数が予算積算時を下回ったこと等により、予算金額に比して決算金額が62百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮、手術件数の増加及び診療体制の充実等に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が807百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、講習料収入の増、保育料収入の増及び科学研究費補助金間接経費の獲得等により、予算金額に比して決算金額が122百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたこと及び前年度以前からの繰越金244百万円を予算化したことにより、予算金額に比して決算金額が479百万円多額となっております。
- (注8) 長期借入金については、事業計画を変更したことによる借入額の減少及び東日本大震災の影響により病院特別医療機械整備費を繰越したことにより、予算金額に比して決算金額が2,299百万円少額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、学生寄宿舍施設整備事業及び附属病院再開事業に係る施設設備整備事業の計画を実行するため目的積立金を予算化したため、予算金額に比して決算金額が145百万円多額となっております。
- (注10) 教育研究経費については、退職手当が見込より少なかったこと、陸上競技場整備事業など業務達成基準を適用したこと等により、予算金額に比して決算金額が526百万円少額となっております。
- (注11) 診療経費については、(注5)に示した理由により病院収入が増収したことによる医薬品、診療用消耗品等の費用が増加したこと及び目的積立金による附属病院再開事業の設備整備により、予算金額に比して決算金額が155百万円多額となっております。
- (注12) 施設整備費については、(注1)、(注3)及び(注8)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が2,363百万円少額となっております。
- (注13) 補助金については、(注2)に示した理由により増加したが、東日本大震災の影響により国立大学設備整備費補助金を繰越したことにより、予算金額に比して決算金額が206百万円少額となっております。
- (注14) 産学連携等研究費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が168百万円多額となっております。
- (注15) 長期借入金償還金については、利率が予定より下回ったことにより、予算金額に比して決算金額が17百万円少額となっております。